

# That's 市民力



発行：長崎市市民協働推進室 〒850-0022長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

## THAT 'S市民力8月号

- 提案型協働事業の1次審査会を開催 1
- 「ボランティアは新しい経験と出会いの場」～ちゃんぽんミーティング～ 1
- これって協働？ ①防災協議会の取り組み 2
- これって協働？ ②長崎体験プログラム 2
- 協働の必要性を再確認しました ～市民協働研修～ 2

## 提案型協働事業1次審査会を開催

8月22日(土)、提案型協働事業1次審査会を開催しました。

提案型協働事業は、市民活動団体の発想を活かした事業企画の提案を募集し、市民活動団体等と長崎市が「協働」の手法によって、地域の多様な課題を解決しようとする制度です。

今回は、平成28年度に実施する事業について、市民提案型として2件の企画



が提案され、審査を行った結果、いずれの事業企画とも採択されました。採択された企

画は、団体と担当課との間で調整を重ね、10月18日(日)に市民会館で開催される2次審査会に臨みます。



- 採択団体及び提案事業名
- 絶滅危惧一長崎文化再生事業 (長崎町人町プロジェクト)
- 子どもの権利を考えるワークショップ事業 (NPO法人長崎県子ども劇場連絡会)

## 「ボランティアは新しい経験と出会いの場」

～ちゃんぽんミーティング～

8月19日(水)、「広がれ！ ボランティアの輪～学生編～2015」をテーマに、ちゃんぽんミーティングを開催しました。今回は、日頃からボランティア活動に取り組む、中学生から大学生までの学生15人が参加し、それぞれの活動紹介と意見交換を行いました。



意見交換では、「ボランティアでは、

「ボランティアはお金の代わりに新しい経験や出会いが得られる」「活動する以上は、ボランティ

アという立場に甘えてはいけない」といった普段の活動での気づきや、「もっとボランティアの情報がほしい」「これからも続けたい」「やって良かったという気持ちを後輩にも伝えていきたい」など積極的な発言がありました。



次回は、9月24日(木)、「若い力で取り組むまちづくり」をテーマに開催します。



## これって協働？ ①防災協議会の取り組み

いざという時に備え、自治会などで防災啓発を行う「自主防災組織」の結成が、全国的に推進されています。しかし、長崎市の結成率は全国平均を下回っているのが現状です。

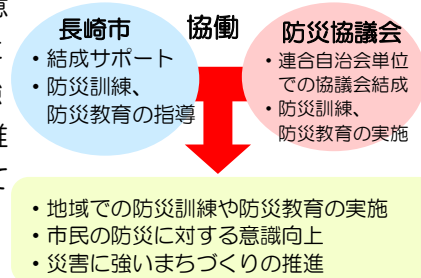
世帯数が少ない自治会など、単独で防災活動を行うことが難しい自治会などもあることから、長崎市では連合自治会の中に「防災協議会」を設立し、地域の自主防災組織等の支援や、連合内の各自治会の負担軽減に取り組んでいます。

防災協議会の結成にあたっ



ては、自治会の方々に「共助」の必要性を理解していただき、結成までのサポートや結成後の訓練指導を、市の防災危機管理室や消防局、高齢者すこやか支援課などが連携して行っています。

このように、地域と行政が協働して自主防災組織や防災協議会の結成促進を行うことで、地域住民だけでは進めることが難しい防災啓発を効果的に行い、市民の防災に対する意識が高まるとともに、災害に強いまちづくりの推進へとつながっています。



## これって協働？ ②長崎体験プログラム

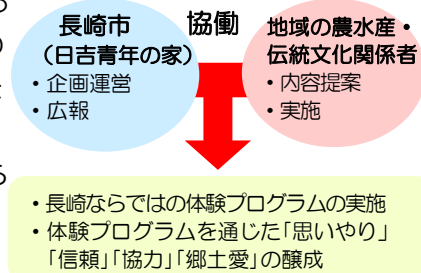
茂木地区・飯香浦にある「日吉青年の家」は、子どもたちが集団生活体験や自然体験等を通して「自主性」「協調性」「社会性」などを養うことを目的とした施設です。

小学校の宿泊体験学習や日吉青年の家主催事業で行う体験活動では、地域（日吉、茂木、東長崎地区）で農水産業に携わったり、伝統文化の継承に取り組んだりしている皆さんと協働して行う「長崎体験プログラム」があり、野菜の植え付け・収穫などの農業体験、お魚さばきやすり



身づくりを通じた水産加工体験、イチゴ・ピワなど地域の食材を使った料理体験、パーロン体験など、地域の自然、農水産業、伝統文化に触れることで郷土長崎への理解が深まる体験活動が行われています。

多くの人との交流を生む「長崎体験プログラム」は、施設が目標とする「思いやり」「信頼」「協力」「郷土愛」の醸成だけでなく、子どもたちに地域の産業や文化の魅力を伝えることで、地域の活性化にもつながるものとして、協働の効果があらわれています。



## 協働の必要性を再確認しました

8月10日(月)、講師にIIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表の川北秀人氏を迎え、市民活動団体を対象に、市民協働研修「『協働』の疑問と課題を解決しよう」を開催しました。

研修では、人口統計や財政状況などの資料をもとに、人口減少と高齢化が急速に進む長崎市の現状と将来の予測、それに伴って増えてくるのが考えられる課題などについての説明がありました。その後は、全国各地で地域の課題解決に取り組む市民活動の事例を紹介していただきました。

その中で、団体がやりたいことをやるだけでなく、地域から何が求められているのかを知るととも

## ～市民協働研修～

に、その解決に取り組む、地域から必要とされる市民活動団体となっていくために必要なことは何か、といったことについても解説をしていただき、自分の団体の状況を改めて確認する機会もありました。

この研修をきっかけとして、行政との協働、企業との協働、団体同士の協働が広がり、やがて地域が一体となって取り組む「総動」へとつながって、長崎のまちが元気になっていくことを学びました。

